

---

---

2020 年度（令和 2 年度）

# 事業計画書

令和 2 年 3 月 27 日

学校法人 玉手山学園

---

---

# I. 事業計画策定にあたって

## 第3期(2018~2022)学園中長期計画 3年目(2020年度)

建学の精神は「感恩」 ありがとうは人を育てる

学園教育活動のベースです

夢と志(豊かな心)を 形に行動に 感動・感謝との出会い

元気・やる気が出てきた 夢中になるものを見つける学園  
教職員が各々の持ち味を生かし“感動・感謝との出会い”を創出し  
学生・生徒・園児たちにプレゼントすれば そこに「夢と志」が育ちます

「誠実」そして「創意工夫」「やってみよう」

学園教育活動の姿勢 できない理由より できる方法を考える

面白い学園に

「ありがとう」を大切に 夢と志を育て 実践(やってみよう(WAKU WAKU))

私たちがどう接するかで若者は変わる

2020年度の取り組みキーワード 一部紹介

「感恩」 夢と志 あいさつ

教育の質向上(勉強(自習)時間)

卒業率向上 “Kanjo”幼 New 教育プログラム

イクボス宣言 & No ハラスメント尊重

“整形リハ”診療所充実 地域共生

Open Campus Website(学園のオモシロ発信)

学園2号館活況(Learning Commons 1,000人/日)

学園の「食」向上 人工芝グラウンド活用

Front Square(勾玉橋前)構築



学園2号館 完成(2020.6)イメージ図  
素敵な愛称 待ってます!!  
もうこんな時間(帰れない🙄) どうしよう?



学園2号館 2F Learning Commons  
のイメージ図 人気スポットに!



チェコで「なぎなた指導」  
(2019.12)  
福科大高校 島名教諭(左手前)



健康科学科 卒業研究発表  
(2020.2.6)  
テーマ (実に豊か)は自分で考える



Tama Square 黄昏コンサート  
(2019.11.14)  
大勢で“楽しさ”を共有



学園の「食」向上にチャレンジ



オムそば定食  
(2020.2.4)

For the students の視座

学園教育活動の基本的視座 それは“*For the students*”

「何ができるのか 何をすべきか」教職員が各自の役割を果たし  
学園は豊かに成長します



学園避難所運営演習を実施  
(2019.12.10)  
まさかの災害時多くの方が学園に集まる

恩 感

学校法人 玉手山学園  
理事長・学園長 江端 源治

**建学の精神「感恩」**

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている  
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって  
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から  
新しい「ありがとう」が生まれる～

**使命**

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

**綱領**

1. 学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす  
その教育実践により 学園職員も豊かになる
2. 教育人として 自己の能力 人格の向上に努め その使命を誠実に遂行し  
未来を拓く「知・志」を継承 創造する
3. 各校園は 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ 常に改革の意識を  
もって 創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する
4. 継続 発展を創り出す確かな組織力と 健全な財政基盤を確立する

**ビジョン****【玉手山学園の実践・実現】 *For the students***

1. 夢と志(*Dreams and Wills*)を育てる学園 (学園ブランドに)  
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
2. 学園教育力の向上
  - ・教育の質向上 (学修成果 (できるようになる)・修学成就)
  - ・組織安定
  - ・4 校園体制堅持 (大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
  - ・健全収支
3. 地域共生 社会に愛され 成長する学園
4. 教育環境の充実 (安全 安心 快適 ECO)
5. 学園総合力の向上 (学園ファミリー意識)  
各校園 (職員) の相互協力 尊重 豊かな職場

## II. 法人の概要

### 1. 設置する学校

学校名	学部・学科・専攻等		開設年度
関西福祉科学大学	社会福祉学研究科	臨床福祉学専攻（博士前期課程）	平成 13 年
		臨床福祉学専攻（博士後期課程）	平成 15 年
		心理臨床学専攻（修士課程）	平成 15 年
	社会福祉学部	社会福祉学科	平成 9 年
	心理科学部	心理科学科	平成 28 年
	教育学部	教育学科	平成 28 年
		子ども教育専攻	
		発達支援教育専攻	
	健康福祉学部	健康科学科	平成 15 年
		福祉栄養学科	平成 15 年
保健医療学部	リハビリテーション学科	平成 23 年	
	理学療法学専攻		
	作業療法学専攻		
	言語聴覚学専攻		
関西女子短期大学	保育学科	昭和 40 年	
	養護保健学科	昭和 42 年	
	歯科衛生学科	平成 17 年	
	医療秘書学科	平成 23 年	
関西福祉科学大学高等学校	全日制課程普通科	昭和 17 年	
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園		昭和 40 年	

### 2. 学生・生徒・園児数

< 関西福祉科学大学 >

(単位：名)

研究科・学部・学科・専攻等		入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員	在籍者数(R2.4.1)					R1 年度 卒業生数
					1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計	
社会福祉学 研究科	臨床福祉学専攻(博士前期課程)	20	0	40	4	5			9	2
	臨床福祉学専攻(博士後期課程)	3	0	9	1	0	1		2	4
	心理臨床学専攻(修士課程)	10	0	20	5	8			13	5
大学院 計		33	0	69	10	13	1		24	11
社会福祉学部	社会福祉学科	140	20	600	152	140	155	162	609	161
	計	140	20	600	152	140	155	162	609	161
心理科学部	心理科学科	110	10	460	137	119	88	96	440	86
	計	110	10	460	137	119	88	96	440	86
教育学部	教育学科	100	0	400	85	82	65	77	309	72
	子ども教育専攻	50	0	200	30	32	24	27	113	24
	発達支援教育専攻	50	0	200	55	50	41	50	196	48
	計	100	0	400	85	82	65	77	309	72
健康福祉学部	健康科学科	80	10	340	93	80	62	82	317	71
	福祉栄養学科	80	5	330	62	60	69	73	264	71
	計	160	15	670	155	140	131	155	581	142
保健医療学部	リハビリテーション学科	170	0	680	175	186	151	141	653	102
	理学療法学専攻	80	0	320	85	86	80	67	318	51
	作業療法学専攻	50	0	200	53	54	45	48	200	33
	言語聴覚学専攻	40	0	160	37	46	26	26	135	18
	計	170	0	680	175	186	151	141	653	102
大学 計		680	45	2,810	2,592					563

< 関西女子短期大学 >

(単位：名)

学科・専攻科	入学定員	収容定員	在籍者数(R2.4.1)				R1年度卒業生数
			1年生	2年生	3年生	計	
保育学科	120	240	63	91		154	83
養護保健学科	40	80	33	43		76	43
歯科衛生学科	100	300	91	108	103	302	114
医療秘書学科	40	80	33	26		59	27
短大 計	300	700	220	268	103	591	267

< 関西福祉科学大学高等学校 >

(単位：名)

学校名	入学定員	収容定員	在籍者数(R2.4.1)				R1年度卒業生数
			1年生	2年生	3年生	計	
関西福祉科学大学高等学校	270	810	384	394	349	1,127	308

※入学定員は公募入学定員を表記 (H30年度 270名、H31年度 270名、R2年度 270名)  
学則上の入学定員は 470名

< 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園 >

(単位：名)

学校名	入学定員	利用定員	在園児数(R2.4.1)							R1年度卒園児数	
			0歳児	1歳児	2歳児	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児		計
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	—	360	0	9	12	—	114	74	107	316	121

### 3. 専任教職員数

(単位：名)

学校名	R2年度現員 (R2.4.1)		計
	教員	職員	
関西福祉科学大学	130	55	185
関西女子短期大学	36	12	48
関西福祉科学大学高等学校	60	5	65
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	27	0	27
法人	0	2	2
法人本部	0	18	18
関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所	0	4	4
合計	253	96	349

[専任教員内訳] (R2.4.1)

< 関西福祉科学大学 >

(単位：名)

学部・学科		大学設置基準上 必要な専任教員数		教授		准教授		講師		助教		助手		計	
		専任教員	うち教授	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
社会福祉学部	社会福祉学科	14	7	4	5	3	7	1	1	1	2	0	0	9	15
心理科学部	心理科学科	10	5	8	3	1	2	1	0	0	0	0	0	10	5
教育学部	教育学科	10	5	6	4	3	3	4	1	0	0	0	0	13	8
健康福祉学部	健康科学科	14	7	7	5	0	2	1	2	0	0	0	0	8	9
	福祉栄養学科	10	5	4	3	2	3	3	1	0	0	0	0	9	7
保健医療学部	リハビリテーション学科	17	9	11	2	2	5	7	4	5	1	0	0	25	12
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数		28	14	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計		103	52	40	22	11	22	17	9	6	3	0	0	74	56
専任教員数には、学長・副学長兼務者(2名)を含む												総計	130		

< 関西女子短期大学 >

(単位：名)

学科	短大設置基準上 必要な専任教員数		教授		准教授		講師		助教		助手		計		
	専任教員	うち教授	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
保育学科	10	3	1	2	1	3	0	3	0	0	0	0	2	8	
養護保健学科	4	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	
歯科衛生学科	6	2	3	4	0	0	0	2	0	2	0	3	3	11	
医療秘書学科	4	2	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	2	4	
短期大学全体の入学定員に応じ定める専任教員数		5	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
合計		29	11	8	7	1	7	1	7	0	2	0	3	10	26
専任教員数には、学長兼務者(1名)を含む												総計	36		

< 関西福祉科学大学高等学校 >

< 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園 >

(単位：名)

学校名	専任教員数		計
	男	女	
関西福祉科学大学高等学校	48	12	60
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	1	26	27

### Ⅲ. 事業計画の概要（重点施策）

#### 関西福祉科学大学

1. 笑顔、あいさつの励行（教職員から学生に）
2. 主体的な学修時間の増加
3. 国家試験、各種資格試験等の合格支援
4. 地域連携公認プログラムの推進
5. 広報活動の活性化

#### 関西女子短期大学

1. 建学の精神「感恩」の実践
2. 主体的な学習時間の増加
3. 教員の和及び教員と学生の和
4. 入学定員の充足
5. 同窓会活動の充実

#### 関西福祉科学大学高等学校

1. 生徒が、生き生きと学校生活を送ることができるよう、次の5項目を実践  
①授業を大切に ②時間を守る ③笑顔で挨拶  
④「ありがとう」の心を大切に ⑤課外活動を活発に
2. 進路実績向上とグローバル視点での教育実践
3. 課外活動へ積極的参加できる教育環境整備
4. 生徒との信頼関係を築き、満足度を上げる取り組みを実践

#### 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園

1. 保育実践力、教員として望ましい資質、[質の高い保育]を実践する能力の向上
2. 魅力ある子育て支援体制の具現化
3. 新教育プログラムを基盤とした生活環境、施設設備の充実と整備、楽しく活気ある園の構築  
・0～5歳までの一貫教育を行うための環境整備と保育計画の実践、  
預かり保育・異年齢児保育のさらなる充実
4. 魅力的な広報活動の実施と園児の確保

#### 法人本部

1. 教育環境の充実 ー短大1号館解体後の空地活用(案)の検討  
「食」のQuality向上  
学園2号館活用推進
2. 学園避難所運営演習の推進
3. 職員のさらなる能力開発、視野・見識の拡大
4. 豊かな職場に向けた取り組み
5. 安定した財政基盤の確立

## IV. 財務の概要

### 1. 令和2年度予算編成の基本方針

わが学園は、建学の精神「感恩」を実践する人を育成し、豊かな未来社会をつくることをその使命としています。

各校園は、その実現に向けて、それぞれの基本理念（使命、教育理念、教育目的・目標）を掲げ、総力を結集して、教育事業活動に邁進しています。

教育事業活動を遂行する主たる財源は、学生・生徒・園児からの学納金です。彼らの「夢と志」を伸ばし育てるため、限られた財源で最大限の教育効果をあげなければなりません。

令和2年度予算策定にあたり、以下に学園予算編成基本方針を示します。

- ①持続可能で強固な財政基盤の確立ための経営改善
  - ・事業活動収入の安定と拡大⇒学納金、補助金及び競争的外部資金の獲得他
  - ・事業活動支出の内容分析（※1）による制御⇒収支状況の改善
    - ※1 優先順位を見極めた事業の推進を図る。その為にも事業の有効性、経費の次年度以降の負担等についても検証を行う。
- ②第3期中長期計画（2018-2022）、中長期財務計画（2019-2021）の推進
  - ・『第3期中長期計画』及び『健全収支達成に向けた中長期財務計画』の実現に向けて
  - ・令和2年度「行動計画」を実現するための財源を明確にする
- ③教育の質及び研究力の向上のための積極的投資
  - ・事業内容の精査及び執行
- ④構成員全員による経営理念を意識した、教育への投資効率の向上
  - ・部門別「健全収支」・「標準運営費」概念の定着と実践
  - ・費用対効果を最大限に追求（無駄を省いた予算編成）
  - ・奨学金の制御と効果増につながる施策の実践
- ⑤適切な組織作り（健全収支計画を注視）と人員配置計画による総人件費の制御
  - ・ICTを活用した業務の効率化の検討・推進を行う

### 2. 予算の概要

#### (1) 資金収支計算書（内訳表ベース）

（単位：百万円）

	令和2年度予算	令和元年度予算
資金収入合計	5,764	5,795
資金支出合計	5,897	7,489
資金収支差額	△133	△1,694

令和2年度予算は、施設や設備などの投資に係る支出が前年度と比べて減少したものの、収支の均衡を欠く予算編成となりました。

資金収入は、厳しい学生募集環境にありながら、学納金が前年度予算に比べて増加するものの、経常費等補助金の減少等により、前年度比31百万円減の5,764百万円となりました。

資金支出は、昨年度に引き続き、学園新校舎建設等の積極的な投資を含んでいるものの、前年度比1,592百万円減の5,897百万円となりました。

その結果、内訳書における資金収支差額は△133百万円となり、支出超過の予算編成となりました。



## (2) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
教育活動収入計	5,749	5,768	△19
教育活動支出計	5,978	5,995	△18
教育活動収支差額	△228	△227	△1
教育活動外収入計	15	16	△1
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	15	16	△1
経常収支差額	△213	△211	△2
特別収入計	0	11	△11
特別支出計	2	18	△16
特別収支差額	△2	△8	6
〔予備費〕	20	20	0
基本金組入前当年度収支差額	△235	△239	4
基本金組入額合計	△567	△1,721	1,154
当年度収支差額	△802	△1,960	1,158

(参考)

事業活動収入	5,764	5,795	△30
事業活動支出	6,000	6,034	△34

事業活動収入は、学納金が前年度予算に比べて増加するものの、経常費等補助金等が減少する見込みであり、前年度比 30 百万円減の 5,764 百万円となりました。

事業活動支出は、教育研究経費及び管理経費が前年度予算に比べて増加するものの、人件費が減少する見込みであり、前年度比 34 百万円減の 6,000 百万円となりました。

基本金組入額は、学園新校舎の昨年度分の建築額が大きかった反動により、前年度比 1,154 百万円減の 567 百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比 4 百万円増で△235 百万円、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比 1,158 百万円増で△802 百万円となり、翌年度繰越収支差額が減少する予算編成となりました。

## 3. 主要財務指標

(% )

	H29 年度	H30 年度	R 元年度 (予算)	R2 年度 (予算)	全国平均 (H30 年度)
人件費比率	58.6	58.8	60.3	59.0	53.0
人件費依存率	78.2	78.1	80.2	77.0	70.9
教育研究経費比率	33.1	31.8	33.8	35.0	33.4
管理経費比率	9.2	9.3	9.5	9.7	8.8
事業活動収支差額比率	△1.0	0.8	△4.1	△4.1	4.6
基本金組入後収支比率	102.3	106.9	148.1	115.0	107.0
学生・生徒等納付金比率	74.9	75.3	75.2	76.7	74.8
補助金比率	21.0	19.5	20.1	19.4	12.6
減価償却額比率	10.3	10.5	10.3	10.8	11.8

(医歯科系法人を除く)

◇ 各比率は以下による

人件費比率	(人件費／経常収入)
人件費依存率	(人件費／納付金)
教育研究経費比率	(教育研究経費／経常収入)
管理経費比率	(管理経費／経常収入)
事業活動収支差額比率	(基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入)
基本金組入後収支比率	(事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額))
学生・生徒等納付金比率	(納付金／経常収入)
補助金比率	(補助金／事業活動収入)
減価償却額比率	(減価償却額／経常支出)

(注) 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

「経常支出」＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

以上